

## 森カフェで奈良の味と香り

内装は吉野杉・PR拠点「フォレスト虎ノ門」



吉野杉を内装に使い、奈良の食材を採り入れた料理を提供するカフェなどが入る複合施設「フォレスト虎ノ門」が15日、港区虎ノ門1丁目にオープンする。日本橋・三越前の「奈良まほろば館」に次ぐ新たな奈良のPR拠点になりそうだ。

施設は広さ約600平方メートル。「森カフェ」と名付けられた飲食店・写真館は約300平方メートルで、客席が70席ある。奈良県川上村産の吉野杉約

200本を使った内装は、緑の箸袋に入った割り箸を杉の丸太に枝のように挿した独特のデザインだ。料理の食材には同県吉野町の酒や吉野葛、卵、シイタケなどを使う。施設にはこのほか、ギャラリィや展示販売のスペースなどもある。

フォレスト虎ノ門(03・5510・6825)は郵政福祉ビル1階。営業時間は午前7時半〜午後11時。無休。(神野武美)